



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社 バナ - ズ  
 コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 小林 由佳  
 (氏名) 大内 修  
 TEL 048-523-2018

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,233	19.5	96	125.2	90	124.2	124	
2019年3月期第2四半期	1,868	4.5	43	15.9	40	17.7	29	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 123百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 28百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	7.44	
2019年3月期第2四半期	1.64	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	7,368	2,451	33.1	146.40
2019年3月期	6,970	2,608	37.3	155.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,441百万円 2019年3月期 2,599百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				2.00	2.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,272	2.9	3		17		202		12.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	20,236,086 株	2019年3月期	20,236,086 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,490,553 株	2019年3月期	3,490,202 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,745,631 株	2019年3月期2Q	18,146,273 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国は底堅く推移したものの、欧州の低成長や中国をはじめとする新興国の景気低迷等により、全体として減速基調となりました。また、英国のEU離脱問題や米中通商問題の激化等により、先行き不透明感が増大しております。

一方わが国経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善がみられるなど景気は緩やかに回復しましたが、米国をはじめとする通商問題等の世界経済に対する不確実性の影響も見受けられます。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしております。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市所在の当社所有の商業施設の再開発事業を進めるとともに、群馬県高崎市の土地の有効利用に向けてオフィスビルの建設計画を進めております。

本庄の再開発は、第1期新築工事である大型食品スーパー棟1棟と銀行棟1棟の計2棟が竣工し、2019年6月に開店稼働いたしております。第2期新築工事の大型テナント棟1棟と中型テナント棟1棟の計2棟につきましては、2020年2月に着工して順次開店稼働し、2020年11月には全店舗の稼働が開始となる予定です。この2020年11月をもちまして本庄地区の再開発計画が全て完了する見込みです。

また、高崎の土地につきましては、高崎駅至近という好立地を活かして現状の貸駐車場から6階建ての賃貸オフィスビルを建設する計画を進めており、2019年10月に建設工事に着手して2020年3月に竣工、2020年6月に賃貸開始を予定いたしております。

不動産業界は、用地取得競争の激化や建築価格の上昇などの懸念材料が依然として多く、厳しい経営環境が続いておりますが、東京オリンピック後の不動産市況も見据え、好条件の賃貸用物件の新規取得に向けて積極的に取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、お客様の満足度向上を重点に活動し、付帯利益獲得のため、提供商品の知識・技能向上を推進してまいりました。新車部門では軽自動車のN-BOXの販売台数が前年同期を上回り、売上高・利益に貢献いたしました。中古車部門では2018年6月にオープンした寄居店オートテラスコーナーにおきまして、売上高・利益の底上げを図りました。前期に引続き体制強化やトップセールスの推進にも取り組んでまいりました。

楽器販売事業におきましては、顧客ニーズに即した商品を提供し、お客様の立場に立ったきめ細やかなサービスを行ってまいりました。また、世界の一流音楽家による演奏会や講習会等を開催し、音楽大学生や国内の演奏家のスキル向上に貢献して好評を頂くなど、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,233百万円（前年同四半期比119.5%）、営業利益96百万円（同225.2%）、経常利益90百万円（同224.2%）、特別損失203百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失124百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純損失29百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、前第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありました平成産業株式会社の当社保有の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「建材販売」セグメントを報告セグメントから除外しております。

## ①不動産利用

売上高は166百万円（前年同四半期比96.4%）、セグメント利益は128百万円（同100.6%）となりました。

## ②自動車販売

売上高は1,746百万円（前年同四半期比125.9%）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期はセグメント損失18百万円）となりました。

## ③楽器販売

売上高は319百万円（前年同四半期比112.3%）、セグメント利益は26百万円（同181.9%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比398百万円増の7,368百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比555百万円増の4,916百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比157百万円減の2,451百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年10月25日の「通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

当連結会計年度(2020年3月期)の連結業績の見通しは、売上高4,272百万円(前年同期比102.9%)、営業損失3百万円(前年同期は営業利益175百万円)、経常損失17百万円(前年同期は経常利益175百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失202百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益51百万円)を見込んでおります。これらの大きな要因といたしましては、現在進めております埼玉県本庄市所在の当社所有の商業施設の再開発計画において、建物解体費用等を特別損失に計上したことに加えて、この計画に係る建設費の付随費用の一部について、当連結会計年度内において販管費に計上する方針となったことによるものです。なお、この計画における一時的な支出に関する費用の計上については、来期以降には発生しない予定です。当該再開発工事は、2020年11月に全ての工事が完了し、全ての商業施設が稼働する予定であります。また、2019年11月22日をもって株式会社LIXILビバとの賃貸借契約が終了予定であり、一時的に賃料収入が減少する見込みとなりますが、後継テナントにつきましては現在交渉中でありますので、決定次第速やかにお知らせいたします。

また、現在進めております高崎駅前の6階建のテナントビル新築工事につきましては、2020年3月に竣工、2020年6月に賃貸開始の予定となっております。

(注) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性もあります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,022,006	1,066,822
受取手形及び売掛金	87,312	80,516
商品及び製品	495,762	418,532
原材料及び貯蔵品	3,002	2,995
前払費用	8,293	12,161
短期貸付金	460,066	457,066
その他	10,724	68,386
貸倒引当金	△4	△11
流動資産合計	2,087,164	2,106,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,532,707	3,087,379
減価償却累計額	△2,637,339	△1,509,055
建物及び構築物(純額)	895,368	1,578,324
機械装置及び運搬具	191,387	214,240
減価償却累計額	△73,833	△82,967
機械装置及び運搬具(純額)	117,553	131,273
工具、器具及び備品	41,438	43,330
減価償却累計額	△30,718	△31,741
工具、器具及び備品(純額)	10,719	11,589
土地	3,296,859	3,296,859
リース資産	51,364	44,390
減価償却累計額	△34,871	△30,339
リース資産(純額)	16,493	14,050
建設仮勘定	485,537	165,031
有形固定資産合計	4,822,532	5,197,127
無形固定資産		
投資その他の資産	1,508	1,772
投資有価証券	18,409	18,402
長期貸付金	7,603	7,570
繰延税金資産	14,762	18,153
その他	25,404	26,097
貸倒引当金	△7,164	△7,164
投資その他の資産合計	59,015	63,058
固定資産合計	4,883,056	5,261,958
資産合計	6,970,221	7,368,427

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	294,231	239,232
短期借入金	440,000	716,000
1年内返済予定の長期借入金	377,388	304,392
1年内返還予定の預り保証金	50,369	50,169
未払費用	25,341	26,021
未払金	31,332	239,598
未払法人税等	12,676	17,014
未払消費税等	22,529	17,460
賞与引当金	11,508	14,471
前受金	202,839	158,346
その他	21,692	36,185
流動負債合計	1,489,908	1,818,892
固定負債		
長期借入金	1,056,834	1,006,078
役員退職慰労引当金	8,601	10,106
退職給付に係る負債	77,985	78,122
預り保証金	941,665	1,191,410
長期前受収益	49,453	83,256
繰延税金負債	326	—
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	18,558	10,791
固定負債合計	2,871,607	3,097,945
負債合計	4,361,515	4,916,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,031	576,031
利益剰余金	722,638	564,602
自己株式	△646,368	△646,410
株主資本合計	959,671	801,593
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	9,432	10,395
純資産合計	2,608,705	2,451,590
負債純資産合計	6,970,221	7,368,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,868,497	2,233,304
売上原価	1,412,915	1,705,806
売上総利益	455,582	527,498
販売費及び一般管理費	412,540	430,565
営業利益	43,041	96,932
営業外収益		
受取利息	5,940	3,865
受取配当金	88	73
その他	3,195	2,496
営業外収益合計	9,224	6,435
営業外費用		
支払利息	11,242	11,701
その他	573	985
営業外費用合計	11,816	12,686
経常利益	40,449	90,681
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	9,788	—
特別利益合計	9,788	—
特別損失		
固定資産除却損	38,472	183,018
関係会社株式売却損	46,396	—
立退費用	—	20,000
特別損失合計	84,869	203,018
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,631	△112,337
法人税、住民税及び事業税	3,446	14,962
法人税等調整額	△9,672	△3,717
法人税等合計	△6,225	11,244
四半期純損失(△)	△28,405	△123,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,440	962
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,845	△124,544



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△28,405	△123,581
四半期包括利益	△28,405	△123,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,845	△124,544
非支配株主に係る四半期包括利益	1,440	962

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,631	△112,337
減価償却費	83,202	76,315
のれん償却額	994	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,681	136
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,355	1,504
貸倒引当金の増減額(△は減少)	151	7
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,965	2,963
受取利息及び受取配当金	△6,029	△3,939
支払利息	11,242	11,701
有価証券評価損益(△は益)	—	7
固定資産除却損	24,972	183,018
関係会社株式売却損益(△は益)	46,396	—
立退費用	—	20,000
売上債権の増減額(△は増加)	9,925	△37,697
たな卸資産の増減額(△は増加)	△77,932	36,791
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,261	△54,998
未収消費税等の増減額(△は増加)	△5,225	△62,312
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,917	△5,068
その他の資産・負債の増減額	△11,812	296,988
小計	14,365	353,081
利息及び配当金の受取額	4,723	3,180
利息の支払額	△11,173	△8,280
立退費用の支払額	—	△20,000
法人税等の支払額	△17,962	△11,507
法人税等の還付額	—	190
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,046	316,664
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△111,680	△97,854
定期預金の払戻による収入	123,475	84,449
有形固定資産の取得による支出	△136,008	△337,522
貸付けによる支出	△250,000	△100,000
貸付金の回収による収入	333,033	103,033
有形固定資産の除却による支出	—	△51,666
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△4,085	—
その他の支出	△1,472	△436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,737	△399,997
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,000	276,000
長期借入れによる収入	60,000	610,000
長期借入金の返済による支出	△93,718	△733,752
自己株式の取得による支出	△55	△42
自己株式の処分による収入	8	—
配当金の支払額	△35,766	△32,650
リース債務の返済による支出	△3,843	△3,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,374	116,143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,159	32,810
現金及び現金同等物の期首残高	801,025	932,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	645,866	965,338

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	建材販売 (注) 2	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	173,129	1,387,906	284,372	23,088	1,868,497	—	1,868,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,788	63	—	—	29,852	△29,852	—
計	202,918	1,387,970	284,372	23,088	1,898,350	△29,852	1,868,497
セグメント利益又は損 失(△)	128,220	△18,853	14,541	△809	123,098	△80,057	※ 43,041

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,057千円には、セグメント間取引消去17千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△80,075千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 建材販売事業は2018年9月5日に平成産業株式会社の全株式を譲渡したことにより、みなし売却日を2018年9月4日として、その時点までの業績を表示しております。

※四半期連結損益計算書の営業利益

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました平成産業株式会社の保有株式全株を譲渡し、同社を連結の範囲から除外し、建材販売事業から撤退しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	166,875	1,746,957	319,470	2,233,304	—	2,233,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,448	89	—	30,538	△30,538	—
計	197,324	1,747,047	319,470	2,263,842	△30,538	2,233,304
セグメント利益	128,987	16,812	26,454	172,255	△75,322	※ 96,932

(注) セグメント利益の調整額△75,322千円には、セグメント間取引消去4千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△75,326千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありました平成産業株式会社の当社保有の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「建材販売」セグメントを報告セグメントから除外しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間における当社グループの報告セグメントは、「不動産利用」、「自動車販売」、「楽器販売」の3区分で構成されることとなりました。

(重要な後発事象)

当社所有の土地・建物の賃貸先である株式会社LIXILビバとの賃貸借契約を2019年11月22日付けで契約期間満了により終了することを2019年10月25日に両社間で合意いたしました。後継テナントにつきまして、現在交渉中でありますので、決定次第速やかにお知らせいたします。